



## 2016 2月号

県西農林事務所 経営・普及部門 Tel : 0296 (24) 9206  
(筑西地域農業改良普及センター) Fax : 0296 (24) 6979

### 筑西地域プロジェクト実績発表会を開催！

1月15日(金)、合同庁舎大会議室にて筑西地域プロジェクト実績発表会が開催され、普及センター管内の各4Hクラブ、関係機関含め約50名の出席がありました。発表会はまず4つの4Hクラブが順に発表を行い、審査発表までの間、真壁高校による特別発表やヤングファーマー海外研修の報告、農業経営士である伊藤氏による講演「若手農業者に期待すること」が行われるなど、盛りだくさんの内容となりました。

プロジェクト実績発表の結果は、協和園芸4Hクラブ白田知巳さんの「イチゴの化学農薬削減大作戦2」が最優秀賞を獲得しました。本発表は標題に大作戦2とあるように、昨年から2年越しのプロジェクト活動となっています。白田さんは、筑西地域代表として、2月1日(月)に行われる県のプロジェクト実績発表会に出場します。また、発表内容が裏面に記載されているので、ご覧下さい。



#### 各クラブ発表タイトル

- 「イチゴの化学農薬削減大作戦2」  
(協和4Hクラブ)
- 「水稲栽培における堆肥施用の効果検討」  
(下館4Hクラブ)
- 「カルシウム施用によるなし「豊水」のみつ症対策」  
(関城4Hクラブ)
- 「カボチャの日焼け果対策の検討」  
(大地のめぐみ)



### 営農情報 こだますいか菌核病防除について

\*本年は茎・葉が柔らかく生育しているため、薬害が発生しやすくなっています。薬剤を散布する際は注意しましょう。

スイカ菌核病は被害植物にできた菌核が土壤中で越冬し、翌年これから胞子が飛散して伝染します。

昨年発病が多く見られた圃場は今年も菌核病が発生しやすいので、

- ①ハウスの換気(特に株元)を励行しましょう。
- ②薬剤を着果前と着果後の二回、茎部にしっかり掛かるよう、丁寧に散布しましょう。

## グリーンライフネットワーク研修交流会を開催！

1月14日（木）、グリーンライフネットワークが中心となって研修会を開き、管内農業者や関係機関等約50名が参加しました。

今年度は2部構成で行い、前半は、フリーアナウンサーの小谷あゆみ氏を講師として、「農からはじまる地域の輪～体験→感動から生まれる“友産友消”のススメ～」と題した講演を行い、農業による感動や楽しさを消費者に伝えて売ることの重要性についてお話しいただきました。後半は活動報告を行い、小谷氏を助言者として、グリーンライフネットワーク代表者3名が、それぞれの農業経営の概要や悩み、将来の夢等について話しました。

参加者からは「これからは感動やよろこびを売るといった感覚を大切にしていきたい」といった声があり、勉強になったようでした。

当部門では、生産者がよりよい農産物PRや地域振興を行えるように今後も支援していきます。



## ナシ大苗育成ほ設置について

下妻市果樹組合連合会、関城梨組合では、ナシの苗木を1年間育苗して2年生の大苗にする、大苗共同育苗を行っています。最近注目されているナシのジョイント栽培を導入する上でも、ほ場に植えた当年にジョイントできることから、この大苗を利用する生産者も増えてきています。

下妻市果樹組合連合会では昨年の12月15日に、関城梨組合では12月28日に、農協、生産者、普及員が協力して1年生苗木を不織布ポットに定植しました。来作に向けて共同育苗がスタートです。



下妻市の大苗育成ほの様子

## 「イチゴの化学農薬削減大作戦2」～筑西地域プロジェクト発表会最優秀作品～

筑西地域は県内有数のイチゴ産地であるが、近年イチゴ栽培ではハダニの防除が問題となっている。しかし、化学農薬だけでは防除効果が高くなく、農薬の使用回数を減らすことは難しいのが現状である。今回、減農薬栽培法の1つとして当地域でも利用が増えてきている天敵を導入して化学農薬削減を目指した。

本試験は、事前の情報収集と経営試算により天敵導入が有用であることを確認した後、ほ場試験を実施した。ほ場試験の結果、天敵を導入した試験区では、調査を行った個体でハダニの発生が見られず、慣行区と比べて収量が増える見込みとなった。また、試験区では、化学農薬散布回数が減り、農薬費、労働時間とも削減することができた。今後も、天敵導入に加えて予防中心の農薬散布を心がけ、慣行栽培に対し化学農薬散布回数を安定して抑えることを目標に、減農薬栽培技術を確立したい。

## 普及員のひとごと…宮城 海代子

お正月も過ぎ、我が家の梅の剪定シーズン到来です。畑というか山斜面に植えられた数十本の梅。

昨年より、まじめに剪定を始めました。好き放題に伸びた梅。「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」と唱えながら、ぱっさり切り縮めています。週1の剪定作業は、花の速度に追いつけず、今年も中途半端で剪定終了となりそうです。もっと早い時期から始めようと昨年誓ったのに（反省）

～編集後記～

段々と石油ストーブの前から離れられなくなってきました。寒いからこそ体を動かすよう心掛けたいです。（谷口）

皆様のご意見、情報お待ちしております。